



ご挨拶

代表取締役 伊藤 兵一

地域に根ざしたシンクタンクとして創立された株式会社フィデア総合研究所が、創立20周年を迎えるにあたり、これまでご支援を賜りました関係各位に深甚なる謝意を表する次第です。

当社の創立は、日本の銀行危機がピークにあるなか日本版金融ビッグバンが始動した平成10年4月に遡ります。

世界的には、東西冷戦が終結し新たな国際秩序を模索していた時期でありましたし、国内においては、「中央から地方へ」、すなわち「地方の自立」の必要性が高まりはじめた時期でもありました。

そういった環境下、当社は荘内銀行の「地域の発展とともにある」という理念にご賛同賜った、多くの自治体様ならびに企業様に株主になっていただき、荘銀総合研究所として創立されました。

その後、平成21年10月のフィデアホールディングス設立にともない、社名をフィデア総合研究所に改め、山形・秋田・宮城をベースに東北全域に視野を広げ、以来、その設立の理念を踏まえ、「個性豊かな地域社会の発展に貢献する」ことを社是として活動してまいりました。

さて、山形県、秋田県は現在、急激な人口減少・少子高齢化に直面しております。

政府が打ち出し推進しております「地方創生」が、その対応策のメインストリームであると認識しております。

フィデア総研は20周年を機に、地方創生に資する地域課題解決を目的としたプロジェクト等の企画立案や提言をより積極的に展開してまいります。

その一環として、今般、創立20周年記念号「人口急減社会の現実と持続可能な地域づくりへの展望」を特集いたしました。皆様のご意見・ご批判を賜れば幸いです。

最後に、当社社員一同一層の自己研鑽に励み、地域社会への貢献に努めてまいり所存でございます。ひきつづきご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。